

## 一次救急を通して見た 北海道と日本の医療の問題点

千歳市休日夜間急病センター

センター長 田中 長利

当センターは、平成29年9月5日に、北海道で15番目の急病センターとして開設されました。光栄にも初代センター長としての重責を任せられ、いかにして最善の医療を提供しようかと日々、奮闘している最中です。千歳市の急病センターに関わる前に、札幌市の急病センターに常勤医として8年間携わった経験から、現在の日本の医療制度における休日夜間急病センターの最適なあり方を実現できるのではないかと考えています。

急病センターの役割としては、まず休日や夜間に受診する患者さんを軽症なのか重症なのかを見極めること。軽症であれば、なるべく症状を軽減して差し上げる。あるいは、安心感を与えることである。重症であれば、ただちに二次病院へ搬送する。簡単に言うとそういう役割を持った病院です。そういった中、現場での問題点や課題としてはいくつかあげられますが、問題点として

### ① 一定の医療レベルの提供

通常、日中の病院が開いていない時間帯の午後7時から朝7時までと、土曜日の午後2時から、あるいは日曜、祭日の朝9時から診察を行っていますが、常勤医師のみでは全ての診療を行えないため、非常勤の先生に頼ることになります。診療科目としては、内科、小児科ですが、勤務される非常勤の先生の専門が、消化器科、呼吸器科、循環器科などばらばらであり、また小児科があまり得意でない先生もいらっしゃるため、診療レベルが同じわけではなく、ある程度の差ができてしまいます。理想は、一定のレベルの医療提供ですが…。

### ② 地方都市のため、二次病院の受け入れ状況に左右される。

一次救急に特化した病院のため、どうしても二次病院に頼らなければいけない状況がありますが、地方都市であるため、二次病院が全ての疾患を受け入れてくれるわけではありません。診療科によっては、例えば、眼科、耳鼻咽喉科の救急は困難です。また、必ずしも二次救急病院が当番として待機していない日もあります。その場合、他の札幌市や苫小牧市の二次当番病院にお願いすることとなります。

### ③ どうしても、コンビニ受診がなくなる。

日中は仕事をしたり、学校に行ったりしているため、つい夜間や休日めがけて受診する患者さんがいます。そのため、医師や看護師は疲弊してしまいます。しかも、最近の傾向なのか、夜間、休日に診てもらうのは当然だという感覚の方も少なくありません。

こういった問題に対して、

- ① には、当センター独自のマニュアルを作成し、日ごろ、急病センターを受診する疾患で多い、急性上気道炎、急性胃腸炎、膀胱炎、蕁麻疹、めまい症など、小児であれば、熱性けいれん、クルーズ症候群、喘息、溶連菌感染症などに対する標準的な治療について作成しています。
- ② に対しては、なるべく二次病院に搬送せず、当センターでも治療を完結できるよう努力しています。例えばですが、胃アニサキス症に対して、通常は胃カメラのある病院に搬送するところを、実はアレルギー反応という報告が多いため、抗アレルギー治療にて軽快し、二次病院へ搬送する必要がなく二次病院の負担も減ります。
- ③ に対しては、やはり市民のみなさんも「夜間、休日に診てくれる自分たちのための病院だ」との認識をしていただき、未永く維持していけるように、育てていってほしいです。そのためには、医師、看護師からの患者のみなさんに情報提供や、医療的な指導を通して、意識を高めていただければと思います。

アメリカ、イギリスやカナダの医療制度では、夜間や休日の急病は、ERのような一次から三次救急まで診る制度であるため、日本では一般的ではないトリアージがあり、風邪や胃腸炎程度であれば、延々と何時間も待たされます。日本のように軽症でも早ければ、20分程度で夜間や休日に診てもらえる国はあまりありません。また、日本のように救急車が無料の国は珍しく、ほとんどの国が有料です。例えば、中国では、まず料金を払わなければ、患者が重症でも救急車に乗せてくれません。救急車に関わらず、全ての医療行為が前払いです。ただ、世界に誇る日本の皆保険制度ではありますが、一番大きな問題は、医療費が高額になりすぎています。今後は、受益者負担の考えを導入すべきです。例えば、フランスでは、病気の重症度に応じて、公費の負担割合が違い、風邪や胃腸炎などの軽症疾患は、ほとんどが自費であり、重症の脳卒中や心疾患では、自己負担割合が低いという合理的な制度です。今後は、日本もそういった思い切った制度へと移行するべきではないかと思っています。

最後に、課題として最も大切なことは、世界に誇る医療制度を守っていくためにも、制度を大きく変えるというより、まずはわれわれ医療従事者が利用する患者側の意識を変えていく努力が必要ではないかと思えるのです。